

平成 25 年度事業計画及び収支予算（案）について

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

基 本 方 針

2015 年（平成 27 年）春の開業まで 2 年を切った北陸新幹線開業がもたらす様々なチャンスの中でも、特に観光を中心とした交流人口の拡大がもたらす、観光振興による市内経済の活性化に大きな期待が寄せられており、平成 25 年度はまさに準備の正念場と言えるものであります。

この機会を確実に捉え、活かすためにも、市や上越商工会議所、民間事業者の皆さんと緊密な連携を図り、当協会が担う事業について着実に取組を進めます。

その中でも、当市の魅力の全国発信による知名度の向上とコンベンション誘致を中心に取り組み、新幹線開業後の 5 年、10 年後にも多くの方から「訪れていただける地」となるよう、各種の事業を推進します。

さらに、社団法人から公益社団法人への移行を図り、組織体制を強化し、着実に事業を推進していける体制づくりに努めます。

公益法人移行後の事業の体系図（案）

- 公益事業－1 観光振興事業
 - 1 観光施設の管理運営事業
 - 2 観光イベント支援事業
 - ① 観光イベントPR・支援事業
 - ② 来訪者満足度向上事業
 - 3 誘客促進事業
 - ① 観光振興促進助成事業
 - ② 着地型旅行商品の開発検討

- 公益事業－2 上越市内のコンベンションの推進
 - ① コンベンション誘致活動
 - ② コンベンション開催支援事業

- 収益事業 観光物産展推進事業

- 法人関係事業 当協会の運営 等

■公益事業－1 観光振興事業

1 観光施設の管理運営事業

○観光案内所運営事業

高田・直江津両駅前観光案内所の運営を上越市から受託・開設し、当市を訪れる観光客等の利便性向上を図るため、観光パンフレットの配布をはじめ、コンベンション協会のホームページやフェイスブックなどの情報媒体による発信を強化し、適時・適切な観光情報の提供を行います。

高田・直江津両案内所は当市の観光の窓口であり、観光客に対し、季節に応じたビューポイントを紹介するなど、従事者の資質向上を図りながら、きめ細やかな観光案内サービスを実施します。

観光案内所の取扱い件数

区分	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度目標
高田駅前	10,878件	8,890件	8,855件	8,000件	9,000件
直江津駅前	19,887件	15,619件	12,175件	11,500件	12,000件
合計	30,765件	24,509件	21,030件	19,500件	21,000件

○上越観光物産センター、高田城三重櫓、海水浴場管理等観光施設の受付案内、管理運営

上越市から上越観光物産センターと高田城三重櫓等、観光施設の受付案内等の業務を受託し、受付・案内業務や館内等の清掃のほか、施設利用者や来館者に対して親切、丁寧な対応を行います。さらに、7月中旬～8月下旬にはたにはま・なおえつ海水浴場の安全・安心な海水浴場の管理運営を市から受託し取り組みます。

2 観光イベント支援事業

①観光イベントのPR及び支援事業

○第88回高田城百万人観桜会 会期 4月5日(金)～21日(日)17日間

本年も100万人を超える来場者を目指すため、昨年につきJR東京駅において「新潟県上越市桜ストリート」と題しての大々的なPRをはじめ、大阪駅での初の観光PRを実施するなど、北陸新幹線の開業に備え、例年のない事前PRを多面的に取り組んでいます。今後も市及び関係機関と連携したPRや会場整備、期間を通じたイベントの実施など、多くの観光客の皆さんに観桜会を楽しんでいただけるよう準備に万全を期します。

○観光客へのおもてなしと利便性の提供

観桜会場と結ぶ最大12か所の臨時駐車場を確保し、シャトルバスの運行により来場者の利便性と交通渋滞の緩和を図ります。

また、金・土・日曜日及び桜の満開時には高田駅からもシャトルバスを運行し、公共交通機関の利用促進を促します。

○春日山城跡でのパンフレット設置など観光客への情報提供

平成21年放送の大河ドラマ「天地人」以降、春日山への誘客の維持を目的に、春日山の謙信公銅像前にコンテナハウスを設置しており、謙信公の郷振興協議会が主催する「越後上越 謙信公と春日山城展」や、春日山にお越しいただいた方が市内のほかの名所や観光施設の情報を容易に入手でき、さらに足を延ばして市内を巡っていただけるように、次年度も引き続きコンテナハウスを設置し、各種パンフレットの配布を行います。

○越後上越 上杉おもてなし武将隊事業

平成25年度も引き続き市より受託し、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」による観光客へのおもてなしや市の観光PR、市民への啓発活動に取り組み、「上杉謙信公と春日山」が当市の観光イメージとして確立できるよう努めます。さらに、埋蔵文化財センターで開催されている「越後上越 謙信公と春日山城展」の管理業務とあわせ、「義の武将の地」である上越市の知名度向上及び観光客の誘客に取り組めます。

○ホームページ等による観光宣伝の強化

平成22年度末にリニューアルした当協会のホームページへのアクセス数は23年度年間約15万件(見込み)を越え、22年度の1.6倍となり、過去最高のアクセス件数となりました。さらに、平成24年度末は17万5千件の見込みで、昨年比で約1.2倍となる過去最高のアクセス数となる見込みです。

桜の開花状況を毎日更新するなどリアルタイムな情報発信と最新の観光等の情報を提供できるシステムを充実し、観光関連施設やイベント等の情報提供と観光PRの充実を図ります。

特に、行政では発信が困難な飲食・土産・宿泊等の情報の発信に取り組むほか、会員情報を整理するとともに会員のホームページとリンクし広く紹介するなど、内容の充実と利

便性の向上を図ります。また、機関誌の発行とあわせ、会員情報を総括的に広く提供していきます。

コンベンション協会ホームページアクセス件数

区分	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度目標
アクセス件数	118,765件	91,006件	148,295件	175,000件	200,000件

○観光パンフ等の作成

上越市の豊かな自然や歴史、史跡、文化などの観光資源等を、用途に併せて作成・配布し、周遊及び宿泊滞在型の観光客誘致を図ります。

さらに、妙高市と上越市の2市の連携事業として観光客が両市のエリアを周遊したくなるような、見やすく使いやすい、両市が一体となった観光パンフレット「j a M旅」(joetsu and myoko) の作成を県上越地域振興局と2市より引き続き受託し、両市の道の駅やガソリンスタンド、コンビニなどに配布するほか、エージェンต์への旅行商品化への売り込みに活用するなど、両市を周遊できる観光誘客のツールとして活用します。

○観光宣伝活動

北陸新幹線開業に向けてさらなる上越市の知名度向上を図るため、全国的な知名度を誇る「上杉謙信公」「春日山」「高田公園の夜桜」を中心に、新聞、旅行雑誌、エージェンต์等を活用した宣伝活動を展開します。特に、今後の集客が見込める首都圏、中京圏、関西圏への戦略的な観光と物産のPRを実施し、知名度の向上と誘客促進を図ります。

特に「上杉謙信公」と「春日山」については、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」による市内外での積極的なPR活動を展開するとともに、訪れる人々が春日山に対しての理解を深め、再度訪れていただけるように、商工会議所や地元の団体などと連携し、今後の有効な利活用の方策も検討します。

また、マスコミや旅行エージェンต์等へ効果的な情報提供を行うため、関係機関と連携し、リストの作成や当市の基本情報を提供するための情報ツールを整えるなど、対応を強化します。さらに、各種イベントや姉妹都市等での「さくらキャンペーン大使・特使」による観光キャラバンを行うなど積極的なPR活動を展開します。

○高田・直江津駅の物産陳列棚の管理運営及び食を通じたおもてなしの向上

高田・直江津駅の物産陳列棚に当市の特産品等を陳列し、商品の紹介を行っています。適宜飾り付けを工夫しながら、引き続き特産品等の紹介に努めます。

一方、観光客が訪れる理由の中で、近年「その土地ならではのおいしい食べ物を食べることを上げる方が増えており、その土地のおもてなしにもなり、リピーターの増加も期待されます。

当市は米をはじめとして酒や山海の幸など豊富な食材があることから、それらを活かした新たな商品開発の呼びかけを積極的に行うとともに、PRを中心に支援を行います。

また、当市の各家庭でも食される「塩スルメの天ぷら」や「メギス(ニギス)のフライ」など、いわゆる「ご当地グルメ」と言われる食について、飲食店等関係者と研究・協議を重ねルール化や組織化を図り、市全体での取組となるよう図ってきましたが、市内へのさ

らなる浸透を進めるための取組を平成 25 年度も継続して実施していきます。

さらに、日本スキー発祥 100 周年を契機に上越市の食材で作られた「レルヒさんカレー」は、市内 13 の飲食店等での提供やお土産として 29 店舗での取り扱い、また、市内の小学校の給食でも提供されるなど定着しつつあります。平成 25 年度も引き続き販売を行い、当市のオリジナルカレーとして定着するよう努めます。

また、「謙信公のかちどき飯」「謙信公 義のふるまい」「謙信勝負飯」など謙信公を P R できる食を「謙信飯」として当協会のホームページ等で一体的に P R するなど、食を通して当市を多面的にアピールしていきます。

②来訪者満足度向上事業

○観光施設、イベント会場等においてのおもてなしの向上と観光ビジネスの推進

宿泊施設等の観光施設は当市を訪れた方とふれあう機会が多く、対応やしつらえの善し悪しは、観光地の印象を決めるうえで大きなウエイトを占めています。

市や商工会議所と連携し、観光・宿泊・飲食施設等関係者の観光ビジネスがより円滑になされるとともに、おもてなしの向上に取り組むことを目指します。

さらにイベント会場などに出店する事業者の利便性を高めるなど、観光客のおもてなしに努めます。

○観光ボランティア及び観光ガイドの育成と派遣

当市を訪れる方の満足度の向上に、地元の方とのふれあいや現地での分かりやすい説明など、観光ガイドに対するニーズは高くなっています。

これまで以上に観光客の満足度を向上させるために、春日山城跡や高田公園をはじめ市内観光施設等の案内の充実に向けて、観光ボランティアと、さらにビジネスとして案内をする観光ガイドの育成を市より支援を受けて取り組みます。

平成 25 年度は新たな取組として、市と協力し高校生を対象とした養成講座を開催するとともに、高田開府 400 年を迎えることから「高田開府」についても再確認しながら、上越市の数多くの観光スポットを効果的に案内・P R できるよう取り組みます。

さらに、当市を訪れる個人観光客や旅行会社のツアー等からのガイド要請に対応するほか、高田城百万人観桜会や上越はすまつり、謙信公祭時の春日山城跡などの各種イベント会場においても観光ボランティアを派遣して、会場内を案内しながら市内観光スポットを紹介し、観光客の市内周遊を促進します。また、おもてなしの心をもって観光客に接することで、観光客のリピーター化を目指します。

なお、現在の観光ボランティア登録者数は 64 人です。

3 誘客促進事業

①観光振興促進助成事業

上越地域における観光振興・誘客促進に有意義と認められる事業に対して助成し、上越地域の一層の観光の振興を図ります。

一団体 上限 20 万円×4 団体程度

②着地型旅行商品の開発検討等

○広域観光ネットワークの推進

上越市・妙高市・糸魚川市及び関係機関と連携し、上越地域内での観光ネットワーク化を推進して交流人口の拡大を図ります。5月に妙高市で三市観光連携会議として開催する、「泉客万来 越後上越 食の嵐 in 妙高」に当市内事業者からの参加の促進と当日の観光PRに取り組みます。

市内においては各区に組織されている観光協会等と観光情報の共有化と事業の連携を図り、それぞれが有している豊かな自然や歴史、文化及びイベント情報を一体的に宣伝・推進する体制づくりのため、事務局会議などを開催し情報交換に努めます。

北陸新幹線の開業に向け、共に準備を進める妙高市、佐渡市、十日町市、柏崎市の各観光協会のほか、佐渡市と定期航路のある新潟市、集客プロモーションを進めている金沢市や上田市、藤岡市等の市や観光協会、また新潟県観光協会とも連携を深め、効果的・広域的な観光振興を目指します。

○信越観光圏整備事業

長野県北部地域と妙高市など 16 市町村で広域的に連携して観光振興を図る信越観光圏整備事業を活用して着地型旅行商品の開発に取り組み、平成 25 年度中には当協会が旅行業免許を取得し、市内の宿泊施設の窓口で着地型旅行商品の販売が可能になるように努めます。

○観光ツアー商品の提案と開発等

平成 23 年度、JR 東日本の旅行ツアー商品の「旅市」に四季毎に内容を変え、高田の雁木を中心としたツアーを提案したところ年間を通して採用されました。平成 24 年度は春日山や武将隊、高田公園のはすなどの商品提案を行い、継続採用されるよう取り組んできました。

さらに、北陸新幹線開業に向けて市及び新幹線まちづくり推進上越広域連携会議、商工会議所が取り組む観光モニターツアー等の企画に参画し、モニターツアーの成果を基に各種旅行エージェント等に提案するなど当市の旅行商品化を促進しており、平成 25 年度も継続して取り組みます。

■公益事業－２ 上越市内のコンベンションの推進

①コンベンション誘致活動

平成 23 年度までに観光事業が及ぼす経済波及効果について、大きな入込みがある海水浴場と高田城百万人観桜会の調査分析を専門機関に委託し検証したところ、両事業とも 30 億円を超える経済波及効果があることがわかりました。

平成 24 年度もコンベンションの開催の経済効果を調査したところ、北陸新幹線開業後は今まで以上に交通の要衝としての利便性が高まることから、教育・研究機関・スポーツなど大規模な大会や会議の誘致に向け、当市で「上越 M I C E※」の組織化を行い、新潟県や関係団体等との情報交換を密にし、コンベンション開催についての情報収集と関係機関等へ積極的な訪問誘致活動を、新幹線まちづくり推進上越広域連携会議との連携により取り組みます。

※M I C E (マイス)・・・(M) Meeting、(I) Incentive、(C) Convention、(E) Exhibition の 4 つの頭文字をとった造語。

②コンベンション開催支援事業

コンベンション主催者への支援と参加者へのサービスを充実させ、上越市を訪れる人の利便性を高めるために、ワンストップサービスで対応できるように体制を整備します。

- ・主催者への補助金交付
- ・会場への歓迎看板等の掲出及び会場案内・宿泊施設等の情報提供
- ・特産品及び土産品の紹介並びに販売
- ・観光ボランティアの派遣及び観光パンフレットの提供

■収益事業 観光物産展推進事業

○姉妹都市等での「上越市の観光と物産展」の開催

姉妹都市をはじめとする各都市のイベント会場などに出張して「上越市の観光と物産展」を開催し、観桜会や海水浴場、はすまつり、謙信公祭等の観光PRを行い、誘客促進と知名度の向上や物産の販売促進に努めるとともに、市の農業政策関係課との連携による、新たな取引が生まれる仕組みづくりにも取り組みます。

また、平成25年度は北陸新幹線開業に向けたPRを関西圏域で初めて実施するほか、中京圏でのPRとして名古屋市における観光と物産展を引き続き開催しPRに努めます。

そのほか、市民が楽しみにされ毎年多数来場される姉妹都市を招致しての「姉妹都市と上越市の観光と物産展」を開催します。

会員が独自で県内外の物産展等に出店する際には、当市の観光をPRするパンフレット類の提供などの支援を行います。

平成25年度の主な観光と物産展開催計画

□市外の会場

区分	開催日	会場
岩内会場	7月上旬	北海道岩内町
米沢物産展	10月中旬	山形県米沢市
上田物産展	11月中旬	長野県上田市
静岡物産展	11月下旬	静岡市
関西圏会場（新規）	2月下旬	大阪市

□市内の会場

区分	開催日	会場
観桜会物産展	4月5日(金)～21日(日)	高田公園
姉妹都市と上越市の観光と物産展	10月上旬	上越観光物産センター

※市内外とも開催時期や会場は予定であり変更となる場合があります。

■法人関係事業 当協会の運営

○会員の加入促進

会員の皆様へのメリット還元の方策を探りながら、新規会員の加入促進に努めます。

また、自主財源の確保を目指した取組の研究や検討を行うとともに、積極的な事業展開に努めます。

○機関誌の発行

会員の皆様や関係機関との情報交換の円滑化と、相互の連携強化を図ることを目指して、春・秋の年2回、会員紹介や観光情報の提供等を行うため、引き続き協会の「機関誌」を発行します。

○事務局体制の強化と新たな法人への移行

平成22年度に採用した観光振興専門官（次長級）と平成24年度に採用した新幹線・観光誘客コーディネーターを中心に、北陸新幹線開業を見据えた旅行商品の企画や商品化、旅行エージェントとの連携強化などに取り組むとともに、観光事業の広域化や観光客ニーズの多様化などに積極的に対応し、当協会プロパー職員の充実と観光専門職としての資質向上に取り組めます。

協会の運営については、選択と集中による事業の見直しや強化に取り組み、効率的な事務執行に努めるとともに事務局体制の強化に向け、市をはじめ関係団体等と連携し取り組んでいきます。また、平成25年度には新たな公益社団法人へ移行し、効率的な事務運営に努めます。

■年間を通じた観光振興事業の実施

≫第38回上越まつり（主催：上越まつり委員会、謙信公祭協賛会）

7月23日（火）～29日（月） 祇園祭（高田・直江津地区）

8月24日（土）～25日（日） 謙信公祭（春日地区）

※コンベンション協会は、7月26日（金）の「みこし川下り」を担当。

≫第34回上越はすまつり（主催：上越はすまつり実行委員会、事務局：当協会）

7月26日（金）～8月18日（日） 高田公園

規模、内容ともに他所にない「はす」の名所のPRに取り組み、誘客に努めます。

≫レルヒ祭ー日本スキー発祥103周年（主催：レルヒ祭実行委員会、事務局：当協会）

平成26年2月上旬 金谷山、本町商店街ほか

≫第7回「写ッセ」上越市を彩る写真コンテスト

『「写ッセ」上越市を彩る写真コンテスト』として上越写真連盟が実施する事業を支援します。回数を重ねた「写ッセ」は6月に予定している第7回の表彰式・展示会を一区切りとして、今までの成果を検証するとともに、入賞作品は今後当協会が発行する各種印刷物、ホームページ等に使用していくほか、各種イベント会場での展示や出版社、旅行業者等への画像貸し出しにも積極的に活用していきます。

※開催時期や会場は予定であり変更となる場合があります。